



潮路っ子

令和7年2月28日 第 11 号

発行責任者 潮路小学校長 藤村 輝之

学 校 教 育 目 標

豊かな心で学び続けるたくましい子の育成

重点目標

一人一人の可能性を広げ 学ぶ喜びを味わえる力の育成

情報化社会を生き抜く力の育成

情報活用力の育成

持続可能な教育の実践

未来を生きる子供たちのために

校長 藤村 輝之

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」といわれるほど、あっという間に過ぎていく3学期。今年も、2月まで終わりました。そして、今の学年の学びを終える日が着実に迫ってきています。保護者の皆様には、先日実施されました今年度最後の参観日に多数ご来校いただきましたことを心より感謝申し上げます。

さて、Society（リサティ）5.0 という言葉をどこかで耳にしたことがあるかと思います。

狩猟社会（Society1.0）⇨ 農耕社会（Society2.0）⇨ 工業社会（Society3.0）⇨ 情報社会（Society4.0）という人類がこれまで歩んできた社会に次ぐ、5番目の新たな社会を Society5.0 といいます。この社会は、デジタル革新とイノベーション（技術革新）を活用することで実現する社会といわれています。

令和の時代に生きる子供たちは、生まれたときからパソコンやスマートフォンなどが身近にあり、誰とでも通信できる環境のなかでゲームも自由自在に使いこなして成長していきます。自らの興味・関心に応じた映像も手に入り易く、様々な知識を身につけることもできます。

一方で、信頼性の低い情報を鵜呑みにしたり、顔が見えない相手との通信で危険な状況に追い込まれたり、通信方法を間違えて大切な友達の信頼を失うなど負の部分も多くあります。さらに、多面的な考えを整理して行動することが苦手で、知識はあるがコミュニケーションがうまく取れず人間関係を築く力が身につかずに大人になってしまうことも心配されています。

私たちは、これまで人類が培ってきた文化や伝統に加えて、一人一人が多様な幸せ（well-being）を実現する社会の担い手として、AI活用にみられるような新しい技術による新たな価値観、新しい仕組みや習慣を取り入れた学びの場を創造していかなくてはなりません。

今を生きる子供たちには、情報を整理し活用していく力と自分の考えを発信できる言語力が求められます。学校は、多くの体験を通して確実な知識や技能を身につけること、様々な人と語り、多様な価値観や考えに触れながら深く考えることを大切にしていきたいと思います。

今年度をまとめる月となります。次年度に向けてこれまでをふり振り返り、ステップアップするための準備期間としてまいります。

また、季節の変わり目となりました。心身の健康を維持することが不安定になりがちです。「体の元気と心の元気」は、子供も大人も生活すべての基盤となるのではないのでしょうか。睡眠時間を十分に確保した規則正しい生活リズムと栄養バランスの取れた食事で体と心の健康を保っていくことを心がけていきたいと思います。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



1年



2年



3・4年



5・6年

2月全校参観日のようす